

準天頂衛星を利用したSBAS整備

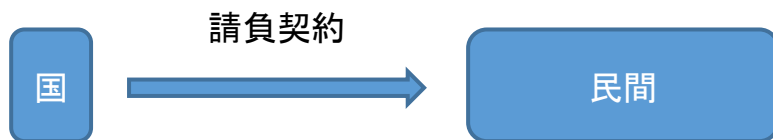
事業期間（平成28～31年）／総事業費1,020百万円
平成28年度予算案248百万円

国土交通省航空局
交通管制部管制技術課
03-5253-8755

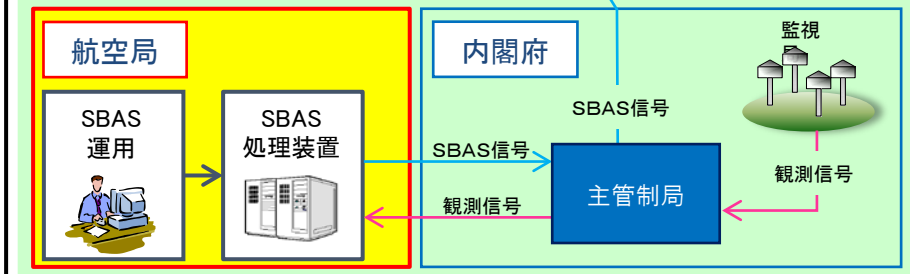
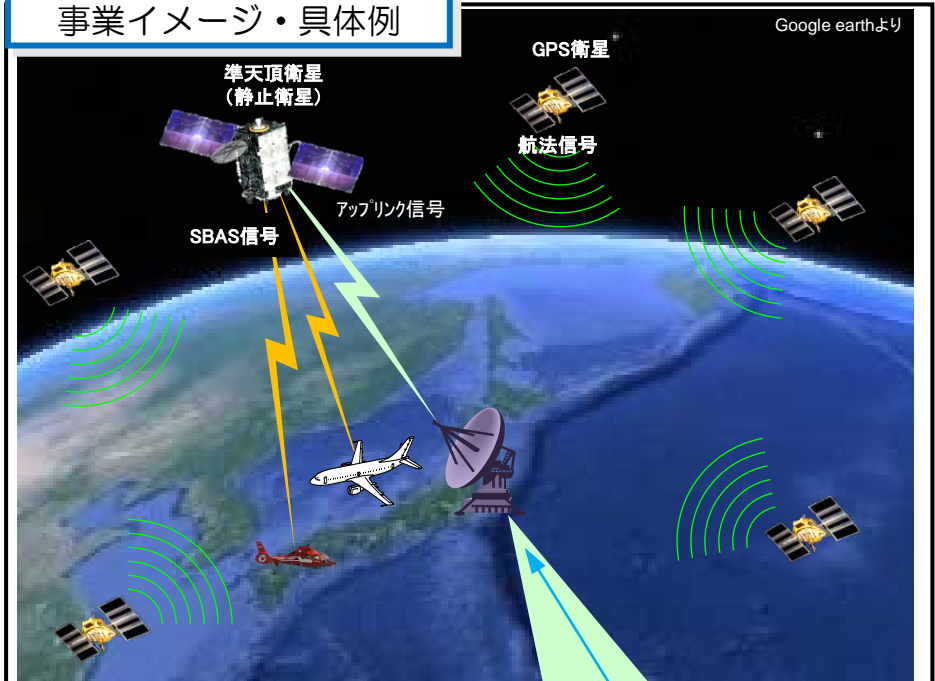
事業概要・目的

- 現在、航空局においては運輸多目的衛星（MTSAT）を利用して航空用の衛星航法システム（SBAS）による測位補強サービスを提供しており、空港における就航率改善や、山間部等における従来型航法装置の電波覆域外を航行することを可能とする等の効果が得られていますが、平成31年度末にはMTSATの寿命を迎えることから、その運用を終了します。
- その後のSBASによる測位補強サービスについては、内閣府が整備・運用する準天頂衛星システムの静止衛星等を利用して継続する事とし、航空局がSBAS処理装置の整備と運用を行います。
- これにより、MTSATの運用終了後もこれまで航空局が提供してきたSBASによる測位補強サービスが継続されることから、航空機の運航における安全・安心が今後とも確保されます。

資金の流れ



事業イメージ・具体例



OSBASは、GPS衛星の故障、不具合等の検出や測位誤差の測定を行い補強情報を生成し、航空機に対して提供することにより、航法性能の向上に寄与します。

災害・危機管理(災危)通報サービスの概要

